

ずしし かんきょうかいぎ ニュース

第33号 2015年10月
 事務局 逗子市環境都市部環境管理課
 逗子市逗子5-2-16
 TEL 046-873-1111

発行 ずしし環境会議 (エコリーダーズ会議)

環境月間にご来場ありがとうございました！！

6月の環境月間では、様々な催し物を行いました！

環境フェスティバル

・映画「365日のシンプルライフ」上映



(c)Unikino 2013

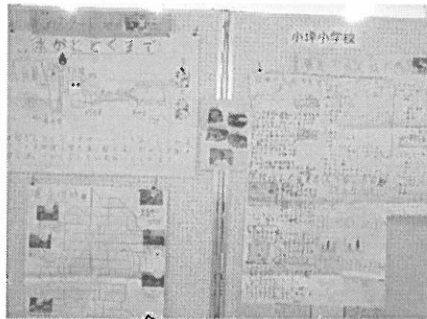
- ・リペアカフェ、エコワークショップ
- ・バケツたんぼをやろう
- ・植木剪定枝粉砕車両チップくん実演
- ・バクテリア de キエーロ実演
- ・エコクラフトワークショップ
- ・分散型エネルギー展など



有機野菜販売、古紙とトイレトペーパー交換

逗子市環境展

- ・市の環境政策の展示
- ・環境に対する活動についての市民団体、事業者、小中学校の展示



小坪小学校から^^



ずしし環境会議展

- ・自然観察会 (さかな、植物) 報告
- ・市内の野鳥などの生き生き動画ショー



- ・太陽光で走るミニチュア電車
- ・工作教室「身近なもので電池を作ろう」など



今年も市民まつりに参加します！

是非ご来場ください！

日時：平成27年10月18日(日)

午前10時～午後4時

場所：第一運動公園 (池子)

「行政関係テント内」

(スマイル横バスケットコート)



ずしし環境会議はみなさんの入会をお待ちしています。ご興味をもたれましたら、まずは事務局の逗子市環境管理課までお問い合わせください。

(親子での入会も大歓迎です)

◎逗子市環境都市部環境管理課◎

電話046-873-1111 内線456、457

E-mail: kankyo@city.zushi.kanagawa.jp



みどり そうぞうぶかい まちなみと緑の創造部会

とうぶかい ずし しぜんかんきょう しせだい つた かつどう つづ
当部会では、「逗子の自然環境を次世代にどのように伝えるか」をテーマとして活動を続けています。

しぜん たの く あそ
自然とともに楽しむ暮らし ～むかし遊びをやってみよう！！

ことしも 10月18日(日)に市民まつりが開催されます。わたしたち「まちなみと緑の創造部会」では昨年大好評だったジュズダマブレスレットやどんぐりのやじるべえ、ササ舟づくりなどのワークショップを今年もおこないます。



むかし ことごとくあそ しょくぶつ ちゅうしん しぜん
昔ながらの工作遊びは植物を中心に自然のものをを使うので、ちょっとした自然体験になります。



ブレスレット作りを使うジュズダマは水辺に生えます。川岸などを歩いていると見つける事が出来ます。普段見落としがちな植物もじっくり観察すればとても素敵だという事に気づかされます。

わたしたち部会メンバーのスタッフがやさしく指導いたしますので作り方がわからなくても心配いりません！！小さなお子さんでもつくり方のお手伝いをします。親子で楽しくご参加ください。



つくりかたはとってもかんたん！みんなもやってみよう！！

あわせて逗子の自然を紹介したパネルを展示します。この機会に是非皆さんの身近な自然を感じてください。市民のみなさんがふだん気になっている自然のことについて語り合いませんか？

だい かいず ししめん 第39回逗子市民まつりにて

まちなみと緑の創造部会ワークショップ開催

自然素材を使って親子で楽しくクラフト作り♪

思わず「懐かしい～(*^_^*)」との声！

参加費は無料です。

問い合わせ先：090-1444-2496 (大塚)

※人数制限はありませんが、数に限りがありますので、なくなり次第受付を終了とさせていただきます。

あき しょうぶつかんさつかい 秋の植物観察会

～神武寺の自然を感じよう～

日時：10月24日(土)

ひがしすしえきまえ しょうごう
東逗子駅前に9：30集合

じんむじしゅうへん しょうぶつ かんさつ
神武寺周辺の植物を観察します。

くわ しょうほう
詳しくは広報ずし10月号にて！

もんだいぶかい ごみ問題部会

もんだいぶかい げんりょうか しげんか かつどう
ごみ問題部会はごみの減量化・資源化をテーマに活動しています。

しょうきやくばい しげんかこうじょう けんがくき 焼却灰の資源化工場「メルテック(株)見学記

ごみ焼却灰の埋立地は「宝の山」と言われるくらい有用な資源が埋もれているそうです。鉱山よりも高含有率だそうです。

それ故にでしょうか。逗子市では、焼却灰の埋立地が満杯になったため、一昨年から、ごみ焼却灰を栃木県小山市(1,045トン)、茨城県鹿嶋市(193トン)、愛知県名古屋(1,020トン)の3ヶ所に運んで、溶融分離し素材原料として再生しています。

その事業所の一つである小山市にあるメルテック(株)を7月30日に、ゼロ・ウェイストの仲間3人で見学に行ってきました。とにかくごみを燃やして灰になったものを、もう一度高温にして溶かして分離するのですから、その際に使われているエネルギーは灰1トンに対して130kgのークラスと副素材の石灰石に、灯油70kgです。遠隔地まで運ぶガソリンを含めたら、年2,000トンもの灰の処理に使われるエネルギーは膨大です。

金額面では灰1トンに対して、運搬処理に5万円以上かかっています。つまり年間1億円以上の支出になります。それに、処理する際に排出されるCO₂は、灰1トンに対して0.64トンだそうです。

結果として得られる建築に利用される骨材としての石と、溶融メタルに含まれる、わずかの貴金属類、金、銀、銅、プラチナなどを考えても、果たして、これをやるのが地球環境にとって善なのか、大いに疑問を感じて帰ってきました。

しよつきしやう きゆうきよく リユース食器使用は究極のゼロ・ウェイストだ! ことし しみん 今年の市民まつりもつかいます!!

市民まつりのごみ持ち帰りはみなさんの常識になり、ごみ問題部会は、10年来このクリーン作戦に全面協力しており、他市からの来場者に「ホントに、ごみのないまつりですね」といわれると誇らしく感じてます。ごみ持ち帰り袋は必要な方に配布しますが、マイバックと一緒にマイ持ち帰り袋をお持ち下さい。

ごみ持ち帰りとともに、クリーン作戦の柱の一つがリユース食器。うどんなど、使い捨て容器を使わない店で買って食べ終わったら、食器を返すと保証金100円を返してもらえ、ごみのでない仕組みです。使用店もどんどん増えて昨年は1,000枚以上使用しました。

市民まつりで何か食べるならリユース食器使用のお店をぜひ利用してください。

鎌倉市などでは、リユース食器利用のイベントに使用料の半額補助の仕組みがあり、地域のまつりでリユース食器を使う所が増えてきているそうです。逗子市には現在そういう補助がありませんが、ぜひそういう仕組みを作ってほしいですね。

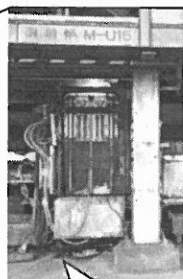
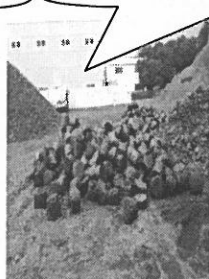
10月1日からは家庭ごみ処理有料化が始まります。みなさまのご協力でゼロ・ウェイストを進めましょう。



はここ しょうきやくばい
運び込まれた焼却灰



と とうかしたものを空気で冷やし固まったもの



ようゆうろ
溶融炉

ちえぶくろ 知恵袋 ちや コーヒーがらなどは水分た

つぶり! 冷蔵庫に入れば防臭剤になる上、よく乾きます。それから燃やすごみに…もちろん生ごみ処理容器のキエー口にも入れれば、もっとういすね。



にさんかたんそさくげんぶかい 二酸化炭素削減部会

ちきゅうおんだんか せいも げんいん にさんかたんそ さくげん かつどう つぶ
地球温暖化の主な原因である二酸化炭素の削減のための活動を続けています。

ほしゅう かつどう
募集！！もって活動するために、気持ちも若い貴方が必要です

I 最近の活動報告

この4月より、逗子市総合計画・環境基本計画がスタートしました。当部会は新たに再生可能エネルギーのひとつである、バイオマス発電関係に取り組むことにし、「バイオマスチーム」を立ち上げました。逗子市に合った「分散型エネルギー」を目指します。現在、市内需要電力量から発電規模を試算中です。

また、6月に出席授業（小坪小学校）、市民交流センターで環境会議展を共同開催し、晴天・小雨でありましたが、約300名の方に見学していただきありがとうございました。市民からも課題をいただき、それらを取り入れ次回には反映させます。

II 10月の市民まつりに参加します

「エネルギー」の一端を担う当部会は、これは、人類に文化をもたらしてくれたが、現在はその副産物の二酸化炭素が地球レベルで、異常気象等が発生して動植物存続危機に遭遇しつつあります。我国は温暖化政策として、削減目標値を26%（2013年比）に決定。

* 出展コンセプトと展示品

【コンセプト】再生可能エネルギーと活用

【展示品】

- ①子ども達を相手に太陽光と手廻発電で
模型電車を競争させる



- ②ソーラークッカーで簡単な料理に挑戦するグループ



- ③バイオマスグループによる燃料・熱・発電・肥料等説明します。写真はペレットストーブ等（参考）



III 現在部員

在籍25名 活動中約10名、
内女性 在籍3名 活動中1名

IV 例会毎月開催第3木曜日14時

市庁舎5階会議室または市民交流センター

<ご興味をもたれましたら>

まずは事務局の逗子市環境管理課までお問い合わせください。

このニュースへのご意見もお待ちしています。